

平成26年度 校区外部評価

学校評価票 評価指標

学校名

品川区立台場小学校

評価項目1 基礎学力の定着

学校名 品川区立台場小学校

本校の基本的な考え方
(特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)

○各教科の学習内容で、基礎基本となる知識や技能の定着を図る。
 ・登校したらずぐ取組む常学習(朝学習)で、学習習慣の定着を図るとともに、漢字の読み書きや四則計算の知識や技能の定着、読書活動などを推進する。
 ・個に対応した指導を行うために、算数少人数指導や放課後の個別学習を充実させる。特に放課後に関しては、学年毎に「個別学習の時間」の曜日を決めて取組む。また、隔週の土曜日も活用し、副担任もT.Tとしての指導や教材作成にあたり、繰り返しの学習を行う。
 ・毎学期末の漢字・計算テストや第4学年品川区学力定着度調査、第5学年の東京都児童生徒の学力向上を図るための調査、第6学年全国学力調査、CRTテストの結果から、各教科の学力定着度を把握し、課題点を明確にし、授業を改善したり重点指導項目を明らかにしたりする。
 ・学期末、学年末テストを全学年で行い、各学年で身につけなければならない内容を繰り返し学習し身に付けさせて、次の学年へ送るようにする。
 ○自ら学ぼうと意欲、学習態度を大切にして、子どもたちの学習に取組む姿勢を全校体制で構築していく。
 ・「話を聞く」「授業の始めと終わりのあいさつ」「鉛筆の持ち方」「鉛筆を削る」等、学習指導基準(台場スタンダード)の作成と徹底。
 ・学習の知識(言葉や式、表、言い直しなど)や話し合いの言葉(話型)をまとめて指導したり、掲示したりして言語環境を整える。
 ・各教科、領域を通して、問題解決学習(課題把握、予想、自力解決、話し合い、まとめ、習熟・活用)の学習展開を実施し、(台場授業メソッド)書いたり説明したりする思考力や表現力を育てる。
 ・台場授業メソッドを・家庭学習確認カードを作成して、保護者確認サインを依頼して家庭学習の習慣化。
 ○教師の指導力を向上させる

評価の観点	中間自己評価				校長中間報告
	総合評価(評価)	評定についてのコメント			
①教師は、児童・生徒が学習の構え(学習するぞという雰囲気、学習の準備)ができるように指導しているか。					
評価規準	・児童はチャイムとともに着席し学習の準備(教科書、ノートの準備など)をしている。				
	・児童は、教師や友だちの話を聞いて理解しようとしている。				
	・児童は、課題を最後までやり遂げている。				
	・学期末のテストで全員が8割を達成させる。				
②児童・生徒は、授業中、適切な言語を活用して発言しているか。(単語だけの応答となっていないか。)					
評価規準	・児童は、学習した知識(学習の言葉、公式、表、図など)を書いたり、話したりしている。				
	・児童は、適切な言葉(話型)を使って話し合ったり、発表したりしている。				
③教師は、学力の定着を図るために指導の工夫をしているか。					
評価規準	・学習のねらいを児童に提示して、理解させている。				
	・「聞く」「考える」「書く」「発表する」「話し合う」「まとめる」など様々な学習活動を授業に導入している。(台場授業メソッド)				
	・具体物を提示したり、視聴覚機器を利用したりなどの授業の工夫をしている。				
	・体験を通して、学び取ったことを次の学習で活かしている。				
	・繰り返し習熟する時間(朝学習や放課後などの個別指導)を設定し、一人一人に知識や技能の定着をはかっている。				

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目2 社会性・人間性の育成

学校名 品川区立台場小学校

<p>本校の基本的な考え方 <small>(特に身に付けさせたい力、重点的な実践内容など)</small></p>	<p>○各教科、市民科での授業を中心に、日常生活や学校行事、保幼小交流活動の中で、人権尊重教育を通して自他共に大切に、相互に認め合える態度や能力を育て、支持的風土を構築する。 ・各教科、市民科において、人権教育指導計画を精選しながら人権に関わる知識や価値・態度、技能を身に付けさせる。 ・異学年の縦割り班による「清掃・給食・遊び」活動を推進したり、のびっこ園台場保育園、幼稚園や近隣の八つ山保育園との交流活動を行ったりして、自己有用感を高め育成する。 ・校内特別支援教育委員会の月1回の実施と個別指導計画の作成、スクールカウンセラーや巡回相談の活用。 ○家庭、地域、保育園・幼稚園、連携中学校と連携し、規範意識の醸成と基本的な生活習慣の定着のために、重点化した取組を推進する。 ・週の生活目標に加え、学級ごとに週目標を設定し繰り返し評価しながら、「校帽、あいさつ、まもるっち」の徹底、「正しい廊下歩行」、「時と場に応じた言葉遣い」「時間を守る」「係活動や清掃活動」等に取組む児童の育成を図る。</p>
---	---

評価の観点	中間自己評価					校長中間報告
	総合評価 (評価)					
①学校は、市民科の授業を計画的に実施しているか。						
評価規準						
・市民科指導計画のもと、計画的に学習を進めている。						
・家庭や地域の協力を得て、学習した内容を実践する場面を意図的に設定している。						
②教師は、あいさつや礼儀マナー、場に応じた行動などを、共通理解し、分かりやすく指導しているか。						
評価規準						
・教師は、落ち着いた雰囲気の中で始めと終わりのあいさつをすることを指導しているか。						
・教師は、児童が進んで気持ちよくあいさつができるように指導しているか。						
・教師は、児童の丁寧な言葉遣いや行動ができるように指導している。						
③児童・生徒は、市民科で学んだことをもとに適切な行動をとろうとしているか。(市民科で学んだことが日常生活の中で定着しているか。)						
評価規準						
・児童は、自分からあいさつをしたり、場に応じたことばで受け答えをしたりしている。						
・児童は、きまりをまもったり、注意を素直に受け入れたりしている。						
・児童は、委員会活動、縦割り班活動、係活動や清掃活動などに進んで取組んでいる。						
④教師が範を示している様子が感じられたか。						
評価規準						
・教師自ら児童や保護者、地域の方々に進んであいさつをしている。						
・教師は、適切な言葉遣いを通して指導している。						
・教師は、認め合い励まし合える支持的風土をつくっている。						

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目3 小中一貫教育の推進

学校名 品川区立台場小学校

評価の観点		中間自己評価				校長中間報告
		総合評価 (評価)				
本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small>		○品川学園(城南中・品川小)、台場小の2校の教職員や児童・生徒が連携しながら、小中一貫教育を進めていく。 ・「小中一貫の日」には、教職員が相互の授業を見学し、児童・生徒情報や小中一貫教育要領について情報交換を行う。 ・2校合同会議を実施し、生活指導や学習指導については、合同会議の他に随時実施する。 ○2校の児童・生徒同士の連携活動を進める。 ・地域清掃(5、7年)の活動を行う。 ・部活動体験や体験授業を実施したり、運動会などの学校行事などで、中学生のボランティアを活用したりする。 ・連携の様子などは、保護者や地域に発信していく。				
評価 規 準	①教師は、小中一貫教育の意義を十分踏まえた指導をしているか。					
	・小中一貫教育のねらいを理解して、諸活動をしている。					
	・小中学校において、生活指導上の情報共有が十分に行われている。					
評価 規 準	②小中一貫教育のよさが児童・生徒に伝わっているか。					
	・小中学校が合同で進める教育活動(2校合同児童会、部活動体験、授業体験)をしている。					
	・高学年において、連携中学校の学校便り等を配布し、学校の様子を知らせている。					
評価 規 準	③学校は、保護者・地域に、小中一貫教育のよさを理解してもらう努力をしているか。					
	・小中一貫教育に関する取組みについて、学校から情報が発信されている。					

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかという当てはまらない D=当てはまらない

評価項目4 保護者・地域との連携

学校名 品川区立台場小学校

<p>本校の基本的な考え方 <small>(重点的な取組内容など)</small></p>	<p>○子どもたちの安心、安全、心の安定、健全育成を図るため、校区外部評価委員会を中心に、保護者、地域(町会)、保育園・幼稚園、連携中学と一体となって教育活動を推進する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・PTA行事や地域・商店会・シルバーセンター・六行会行事などへ進んで参画し、郷土を愛し、郷土を良くしていこうとする心情や態度を育てる。 ・市民科や学校行事などで、保護者(家庭)や地域の方にも参加・協力いただく学習活動を推進していく。 ・台場保育園、幼稚園はもちろん、近隣保育園との交流やスクールステイ事業を推進する。 <p>○保護者には、教育の当事者意識を醸成する方策を考えて実践する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校情報の積極的な発信(学校だより、ホームページ等)による教育活動の周知 ・保護者会などの諸会合の内容の工夫と効果的な意見交換の場の設定
--	--

評価の観点	中間自己評価				校長中間報告
	総合評価 (評価)	評定についてのコメント			
①学校は、保護者・地域に対して積極的にかかわったり情報発信したりしているか。					
・学校だより、ポスターなどが、地域の掲示板などに掲示されていたり、ホームページにおいて、各学年の様子を知らせるために、月2回以上更新されたりしているか。(学年だより、行事の様子など)					
・のびっこ園台場幼稚園、保育園のほかに地域の保育園と交流している。					
・管理職をはじめとして、教職員が地域行事などに積極的に参加している。					
②学校は、保護者・地域の力を十分に生かして教育を進めているか。					
・保護者や地域の方々が、学校経営に参画できる環境をつくっている。。					
・保護者や地域の方が参加する諸会合で、様々な意見交換ができるような工夫が見られる。					
・保護者、地域の方をゲストに招聘しての授業が工夫して行われている。					

A=よく当てはまる B=概ね当てはまる C=どちらかというと当てはまらない D=当てはまらない